



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月15日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
 コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
 四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	11,901	18.4	94	—	344	—	247	—
2023年8月期第1四半期	10,048	34.1	△622	—	△642	—	△869	—

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 79百万円(—%) 2023年8月期第1四半期 △888百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	11.80	—
2023年8月期第1四半期	△41.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第1四半期	31,663	9,439	29.8	449.81
2023年8月期	33,188	9,485	28.6	452.01

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 9,439百万円 2023年8月期 9,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年8月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,200	19.2	230	—	300	—	250	—	11.91
通期	51,300	12.8	750	—	750	—	550	—	26.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期1Q	21,198,962株	2023年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	213,868株	2023年8月期	213,790株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期1Q	20,985,160株	2023年8月期1Q	20,985,178株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、現在の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になり活動制限の緩和が進んだこと等もあり、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気が緩やかに回復しつつあります。一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安の進行、物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の改善やインバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、新型コロナウイルスによる生活様式の変化や原材料価格・光熱費の高騰、人手不足等の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たすと共に、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献するなどの基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、企業価値の向上を目指し早急な業績の改善を図るため、強化業態を中心とした新規出店及び業態変更の推進、「旬メニュー」の提供などのメニュー戦略及びデジタルマーケティングによる集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の拡大、不動産事業・フランチャイズ事業等の収益力強化、研修制度の充実や賃上げの実施、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による業務効率化推進等の施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を1店舗、店舗改装を5店舗、店舗閉鎖を2店舗(うちVC(ボランタリーチェーン)への移行を1店舗)で行った結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は337店舗(直営243店舗、フランチャイズ43店舗、VC51店舗)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ18.4%増加の11,901百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、卸売と運送を一体化した総合物流サービスの展開を推進していくことを踏まえ、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。

セグメントの前年同期比較については、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

飲食事業につきましては、足許の飲食事業の回復や各種営業施策への取組み等により、売上高は前年同期に比べ4.2%増加の5,457百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ38.1%増加の5,716百万円となりました。

不動産事業につきましては、転貸を含む賃貸物件の家賃収入が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.1%増加の417百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、VC店舗の増加に伴い営業権利用料が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ15.4%増加の229百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べほぼ横ばいの79百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は94百万円(前年同期は営業損失622百万円)、経常利益は344百万円(前年同期は経常損失642百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は247百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失869百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,165百万円となり、前連結会計年度末に比べて789百万円減少となりました。これは、現金及び預金が915百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は19,490百万円となり、前連結会計年度末に比べて734百万円減少となりました。これは、投資有価証券が640百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,077百万円となり、前連結会計年度末に比べて449百万円減少となりました。これは、未払消費税が173百万円、未払金が127百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は13,147百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,028百万円減少となりました。これは、長期借入金が923百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は9,439百万円となり、前連結会計年度末に比べて46百万円減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が121百万円増加したことに対し、その他有価証券評価差額金が167百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期連結業績予想につきましては、2023年10月16日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,165	7,249
売掛金及び契約資産	3,082	3,140
商品及び製品	983	984
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	100	102
未収入金	43	52
その他	603	658
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	12,954	12,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,354	6,309
機械装置及び運搬具（純額）	542	541
工具、器具及び備品（純額）	269	276
土地	4,222	4,222
リース資産（純額）	261	243
建設仮勘定	157	157
有形固定資産合計	11,808	11,750
無形固定資産		
借地権	1,759	1,763
ソフトウェア	107	100
その他	126	126
無形固定資産合計	1,994	1,990
投資その他の資産		
投資有価証券	883	243
出資金	1	1
長期貸付金	5	6
差入保証金	3,559	3,522
敷金	1,611	1,597
繰延税金資産	244	278
その他	163	136
貸倒引当金	△47	△35
投資その他の資産合計	6,422	5,749
固定資産合計	20,225	19,490
繰延資産		
社債発行費	7	7
繰延資産合計	7	7
資産合計	33,188	31,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,319	2,353
短期借入金	160	160
1年内返済予定の長期借入金	3,781	3,733
1年内償還予定の社債	110	90
リース債務	113	113
未払金	1,524	1,396
未払法人税等	94	8
未払消費税等	518	345
賞与引当金	232	227
株主優待引当金	234	175
店舗閉鎖損失引当金	0	—
資産除去債務	21	6
その他	414	465
流動負債合計	9,526	9,077
固定負債		
社債	315	270
長期借入金	9,976	9,052
リース債務	297	268
退職給付に係る負債	1,632	1,608
役員退職慰労引当金	191	196
受入保証金	897	879
資産除去債務	785	790
繰延税金負債	78	78
その他	2	1
固定負債合計	14,175	13,147
負債合計	23,702	22,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,871	7,783
利益剰余金	579	1,789
自己株式	△250	△250
株主資本合計	9,301	9,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	21
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	184	16
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,485	9,439
負債純資産合計	33,188	31,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	10,048	11,901
売上原価	5,859	7,333
売上総利益	4,188	4,567
販売費及び一般管理費	4,811	4,472
営業利益又は営業損失(△)	△622	94
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	1	1
受取保険金	0	35
貸倒引当金戻入額	1	0
受取損害賠償金	9	4
投資有価証券売却益	4	226
その他	8	27
営業外収益合計	26	300
営業外費用		
支払利息	19	21
貸倒引当金繰入額	8	0
訴訟和解金	—	12
その他	17	16
営業外費用合計	45	50
経常利益又は経常損失(△)	△642	344
特別利益		
固定資産売却益	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除却損	14	12
店舗関係整理損	24	3
減損損失	132	2
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	—
特別損失合計	180	18
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△817	326
法人税、住民税及び事業税	26	23
法人税等調整額	26	55
法人税等合計	52	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△869	247
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△869	247

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△869	247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△167
その他の包括利益合計	△18	△167
四半期包括利益	△888	79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△888	79
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	フラン チャイズ 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,235	4,137	—	—	9,373	78	9,452	—	9,452
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	198	198	—	198	—	198
顧客との契約から 生じる収益	5,235	4,137	—	198	9,572	78	9,650	—	9,650
その他の収益(注)4	—	—	397	—	397	—	397	—	397
外部顧客への売上高	5,235	4,137	397	198	9,969	78	10,048	—	10,048
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	1,498	43	0	1,543	55	1,599	△1,599	—
計	5,236	5,636	440	198	11,513	134	11,647	△1,599	10,048
セグメント利益又は損失 (△)	△389	65	80	76	△166	△7	△174	△448	△622

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△448百万円には、セグメント間の取引消去147百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△596百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において127百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において4百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	フラン チャイズ 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,457	5,716	—	—	11,174	79	11,254	—	11,254
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	229	229	—	229	—	229
顧客との契約から 生じる収益	5,457	5,716	—	229	11,403	79	11,483	—	11,483
その他の収益(注)4	—	—	417	—	417	—	417	—	417
外部顧客への売上高	5,457	5,716	417	229	11,821	79	11,901	—	11,901
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	1,507	44	0	1,552	77	1,630	△1,630	—
計	5,458	7,223	462	229	13,374	157	13,532	△1,630	11,901
セグメント利益又は損失 (△)	200	124	94	87	507	△4	502	△407	94

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△407百万円には、セグメント間の取引消去132百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。詳細は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」に記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。